

第2回 国立市富士見台地域重点エリア検討会議 議事要旨

- 1 日時：令和8年7月17日（金） 午後7時～9時
- 2 場所：FSX ホール会議室
- 3 出席者：【出席委員】
小泉委員、近藤委員、高取委員、土屋委員、望月委員
【市・事務局】
国立市長 濱崎、まちづくり政策監 橋本、都市整備部長 立川、富士見台地域
まちづくり担当課長 三澤、布施、立花、他6名
- 4 傍聴者：16名
- 5 議事：（1）第1回国立市富士見台地域重点エリア検討会議振り返り
（2）国立市富士見台地域重点エリアのあるべき姿について
- 6 配布資料：・資料1 第2回 国立市富士見台地域重点エリア検討会議資料
・資料2 今後の予定
・参考資料
―意見まとめマップ
―団地まちづくり通信第5号～7号
- 7 内容：
（1） 第1回国立市富士見台地域重点エリア検討会議振り返り
市より、第1回の振り返りとして、土地利用方針の策定に向けた検討について、検討会議の進め方、第1回で出た意見について振り返りを行った。

（2） 国立市富士見台地域重点エリアのあるべき姿について
重点エリアの公共施設の配置や、パブリック動線の通し方について、模型を用いた意見交換を行った。意見交換の概要は以下のとおり。
 - ・新たなパブリック動線がまち全体としてどこに繋がるのか、人の動きをどう変えるのかという明確な意図が必要である。
 - ・団地居住者の生活動線と外部からも訪れる人も使用するのパブリック動線を明確に分離し、広場や目的となる施設を動線上に配置することでパブリック動線が魅力的になる。
 - ・公共施設の配置については、集約されている方が手続き等で利便性が高く、災害時にも連携しやすい。
 - ・既存の樹木の位置や環境を尊重し、現状を基点にレイアウトを検討すべきである。
 - ・南部地域とのつながりが重要であること、高架沿いに施設を配置し、新たな魅力を生む空間を作る案もポテンシャルがある。意見交換で出た意見の詳細のまとめは次頁のとおり。

意見交換で出た意見の詳細まとめ



パブリック動線に関する意見

○動線がまわりのどこにつながっていくのか、広域で考える必要があるのではないか

- ・動線は周りのどこにつながる想定なのか
- ・市民の動きをどう考えているのか、パブリック動線の先にどうつながっていくのかが見えない

○高架下を拠点として活用するなど、南部地域とのつながりや一体感を大切にしたい

- ・道の駅を誘致するなど高架下をうまく活用したい
- ・南部地域からのアクセスが分断されているイメージがある
- ・南部地域からのアクセスがしやすくなると良い
- ・青柳にもつなげる
- ・重点エリアは国立のヘソであり、顔になる場所

○団地を通過するパブリック動線は、矢川方面につながっていくイメージがわからない

- ・矢川方面への動線は、団地の先が住宅地になるため、団地から先につながっていくイメージがない

○団地の中にパブリック動線が通過するイメージがわからない

- ・公共施設が集約しているパターンだと、目的地が一点に集中してしまうため、パブリック動線が機能しないのではないか

○現状のバス通りを広げて歩行者動線にするのはどうか

- ・現状のバス通りは、歩行者には通りにくい
- ・バス通りを広げて歩行者動線にするのも良い

○広場とセットで今までにない魅力的な歩行者動線をつくりたい

- ・パブリック動線は歩行者専用とし、これまでにない魅力的なものにしたい
- ・動線は魅力ある広場とセットで考えたい

- ・ 入口や出口に、重点エリアの顔になる場所があると良い
- ・ 富士山がよく見えるテラスがあると良い

○国立駅、谷保駅、矢川駅からずっと緑の中を通りたい

- ・ 国立駅、谷保駅、矢川駅が今は途切れているが、全てがみどりでつながると良い

○道ごとに個性をつくる

- ・ 動線にどんな機能や役割を与えるのか考えたい
- ・ さくら通り、団地通など、どこを歩行者の道にするか決めてほしい。バス通りを歩行するのが怖い

○公共施設と連携して団地が開かれると良い

- ・ 災害時を考えて、団地を通り抜けられることも大切だと思う

○調整池付近は高低差があり、変化があって面白い坂道だが、メイン動線には適さないかもしれない

- ・ 高低差があるプロムナードは変化があって楽しく、魅力にもなる
- ・ ヒマラヤ杉が並んでおり、変化があって面白い坂道

○小学校への動線は安全にしたい

公共施設の集約・分散に関する意見

○公共施設は一体的にまとまっていると便利

- ・ 一体になっているとまとめて手続きができ、利用しやすい

○災害時は公共施設が集約していたほうが良い

- ・ 災害時は多くの人があるはず
- ・ さくら通りに近いほうが良いかもしれない
- ・ 集約していると連携が取れて便利
- ・ 分散していると災害時に連携が取りにくくなる

○分散配置だとしても、歩いて移動できる距離であるため問題ないのではないか

○南武線沿いに公共施設がまとまっているのも良い

- ・ 公共施設の配置と高架下をうまく組み合わせたい

○第1団地への公共施設配置を考えられると良い

○公共施設がさくら通りに集約している案も良い

その他の意見（全体や南武線高架などに関する意見）

○既存の樹木の配置を踏まえてプランニングしてほしい

- ・ 今ある樹木を大切にしてほしい
- ・ 緑が豊かで便利な地域であり、特別な場所だと感じる

○高架の影が団地の住棟にかかるかもしれない

- ・ 生活空間と高架の関係は配慮が必要

○住棟配置を、南と北どちらに開くか考えたい

○現状の高さの基準は 19m であり、25m への緩和は何か地域貢献が必要になる